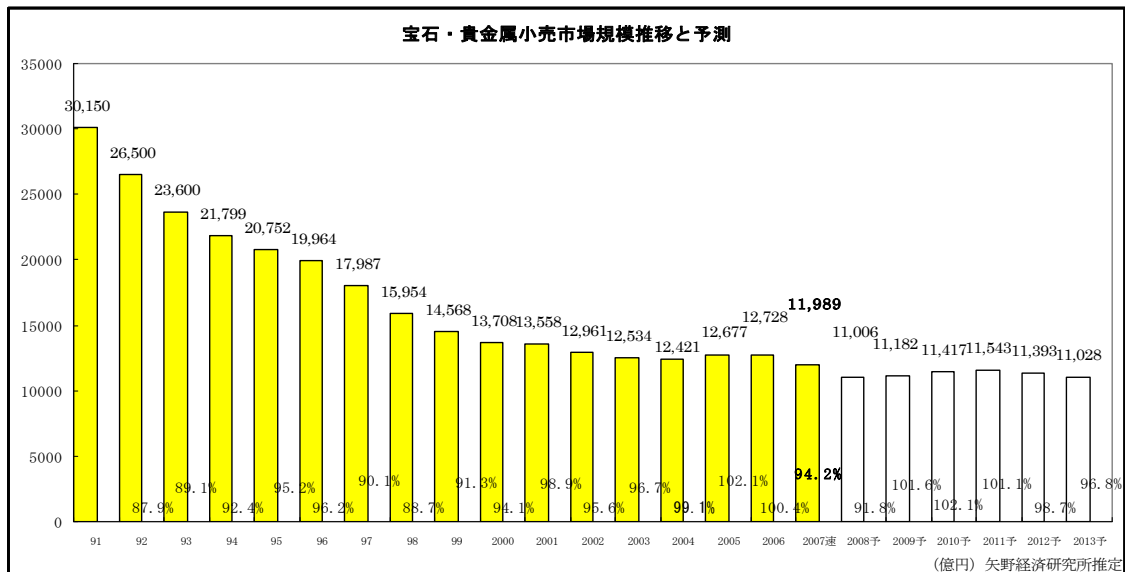


1. 宝飾品市場の市場規模推移と予測

(1) 宝飾品市場規模推移と予測 (1996年～2008年)

■ 2007年の宝飾小売市場規模は減少、1兆1,989億円(前年比5.8%減少)。



矢野経済研究所では、宝飾品(ジュエリー)市場について調査を実施し、2007年の市場規模算出、および2013年までの市場動向の分析・予測を行った。

1. 調査対象：宝石専門店チェーン、百貨店や時計宝石店および呉服などの異業種宝飾参入企業、インポートブランド企業等約4000社
2. 調査期間：2007年1月～2007年12月
3. 調査方法：郵送アンケート、研究員による電話及び直接面接取材

● 宝飾市場はバブル期に3兆円を超える規模にあったが、現在では3分の1近くまで落ち込んでいる。2005年、2006年と格差社会の中で出現したニューリッチの購買などにより、一時的に市場が拡大したものの、2007年は再び経済環境が悪化、クレジットカードローンの与信供与の自主規制や、最大の需要期であるクリスマス商戦が振るわなかったことも重なって、市場は縮小した。

● ジュエリー業界は地金やダイヤモンドなど素材原価の占める割合が大きく、素材を殆ど海外から調達しているため、為替や材料の価格変動が大きく影響する。昨今は、金やプ

ラチナの地金価格の高騰により、店頭価格を2-3割アップせざるを得ず、消費者の買い控えもあった。加えて、今まで市場を牽引してきたインポートジュエリーも過剰出店の影響もあり2003年以来4年振りのマイナスとなった。

■ 2008年以降の宝飾市場規模の予測

～宝飾市場は2012年頃まで拡大していく～

2008年以降の宝飾品小売市場規模は、好調のメンズジュエリーや団塊世代の退職金消費などが本格化すれば市場は緩やかに回復していくと見られる。

今後の宝飾品市場規模に影響を与えそうな要因は次の通りである。

<プラス要因>	<マイナス要因>
<ul style="list-style-type: none"> ・中国、ロシアなど外国人富裕層観光客の消費増 ・団塊世代の退職金消費増 ・メンズジュエリー市場の拡大 ・地金価格高騰によるブライダルジュエリーやヘビーユーザーの増加による単価UP ・買取市場の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナ、金地金の高騰による買い控え ・素材に拘らないアクセサリユーザーの増加 ・クレジットローンの与信規制 ・鑑定等の品質に関する消費者不信 ・後継者不足などによる宝石店の減少 ・ブライダル人口の減少

詳しくは→宝石年鑑DMのアドレス